

2013年3月15日

NEWS RELEASE

インターコンチネンタルホテル大阪

2013年6月5日(水)に開業

ホテルおよびサービスレジデンスの宿泊予約受付を2013年3月15日(金)より開始
www.icosaka.com

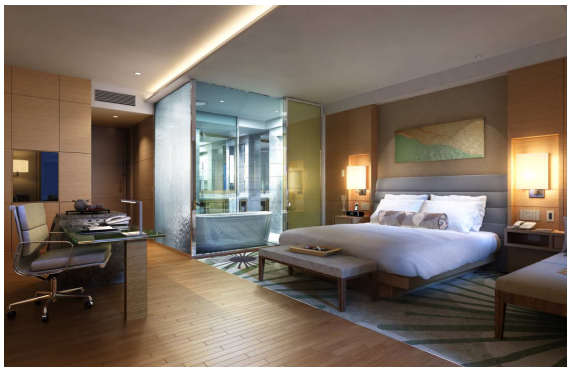
インターコンチネンタルホテル大阪(開業準備室:大阪市北区大深町、総支配人:ハフィッドアル ブサイディ)は、本日、同ホテルを2013年6月5日(水)に開業すると発表しました。

これに伴い、6月5日(水)以降のホテルおよびサービスレジデンスの全客室の宿泊予約の受付を電話(インターコンチネンタルホテルズグループ 東京予約センター、電話:0120-455-655 ※営業時間:09:00~18:00/日曜日休み)およびウェブサイト(www.icosaka.com または www.intercontinental.com)にて、2013年3月15日(金)正午より開始します。インターコンチネンタルホテル大阪は、大阪の中心に新たに誕生するラグジュアリーホテルとして、「コンテンポラリーラグジュアリー」をコンセプトに、新しい体験にこだわり、上質な時間と空間を提供いたします。

215室のホテル客室は、3つのカテゴリーで構成され、その殆どが50㎡を超えるゆとりある空間です。ホテル上層階(26-28階)には「クラブ インターコンチネンタル」を設け、小会議室や読書室が備わる28Fの専用ラウンジでは、チェックイン・チェックアウトや朝食、軽食などのサービスをご利用いただける、ワンランク上の滞在が楽しみいただけます。

長期滞在にも対応できる57室のサービスレジデンスは、ホテル客室と同様のラグジュアリーな仕様で、ホテル最上層階の4フロア(29-32階)に位置し、全室がリビングルームと寝室が別々に設けられたスイートタイプのユニットです。寝室の数(1~3室)に応じた3つのユニットタイプが揃います。すべてのユニットにはキッチンと家電が完備し、ホテルに滞在するお客様と同様に、ルームサービスやコンシェルジュなどのホテルのサービスをご利用いただけます。サービスレジデンスの宿泊は1泊から1か月単位まで、ビジネスおよびレジャーのお客様のニーズに合わせて対応いたします。

サービスレジデンスとホテル客室のインテリアデザインは、世界的に活躍するビルキー・リナス・デザインが手がけ、都会的で洗練されたデザインの中に日本独自の温かさと落ち着きをもたらします。バスアメニティには全世界のインターコンチネンタルが導入する米国の高級フレグランスブランド「アグラリア」を提供し、寝具やタオルなども最高品質のアイテムを厳選します。



ホテル客室(イメージ)



サービスレジデンス(イメージ)

ホテル館内では、ご宿泊以外にも 5 つのレストランとバー、4 つの宴会場と会議室、全長 20m の屋内プールを備えるフィットネス、スパを備え、それぞれの施設とサービスで当ホテルの「コンテンポラリーラグジュアリー」をご体験いただけます。

- 料飲施設は、2 つのレストラン、バー、ラウンジ、パティスリーが揃います。その中でも、ホテルを代表するレストランとして、コンテンポラリーフレンチ「Pierre(ピエール)」をオープンし、ミシュランガイドに掲載され世界的に有名な海外のレストランや日本料理の名店で豊富な経験を持つフランス人シェフ、Pierre Altobelli (ピエール・アルトベリ)のもと、厳選した和の素材を独自の技法で提供する、新しいスタイルのフランス料理をお楽しみいただけます。
- 宴会場、会議室、婚礼チャペル、メインダイニングとバーのインテリアは、日本を拠点に様々な商業施設などを手がける橋本夕紀夫デザインスタジオが手がけ、明るく開放感のある空間と、外の景色との調和に重点を置いています。水や緑をふんだんに取り入れ、ゆとりと安らぎをもたらすことをコンセプトとしたグランフロント大阪の街づくりと調和したデザインで、居心地の良い空間を提供します。
- フィットネスエリアには、日本の文化やおもてなしの心、物づくりにこだわるユニークなスパブランド「ALL THAT SPA OSAKA(オールザットスパオオサカ)」が大阪に初出店し、日本初上陸となるフランスの最高級スパブランド「THÉMAÉ(テマエ)」のアメニティを採用。フラワーショップは、フランス・パリでカリスマ的な人気を誇る「Rosebud Fleuristes(ローズバッド フルリスト)」が日本初出店し、洗練されたフラワーアレンジメントに季節の和花を取り入れるなど、オリジナリティあふれる上質なシーンを演出します。

インターコンチネンタルホテル大阪は、現代的なインテリアデザインの中で、自然を感じ、一歩足を踏み入れた瞬間から「コンテンポラリーラグジュアリー」を体験できる空間を作ります。館内には、大阪をはじめとする国内アーティストによる現代的なアート作品を展示し、厳選したオリジナルのアロマや館内の BGM とともに、そのコンセプトを五感で感じられる工夫を随所に施してまいります。

インターコンチネンタル ホテルズ&リゾーツは、現在、世界 60 カ国で 170 軒のホテルを展開するラグジュアリーホテルブランドで、インターコンチネンタルホテル大阪は、現在、東京・横浜・沖縄で展開する 6 軒のインターコンチネンタルに加わり国内で 7 軒目、そして、大阪および関西に初進出します。インターコンチネンタル ホテルズ&リゾーツでは、滞在するお客様お一人おひとりに、その土地ならではのかけがえのない体験を提供します。インターコンチネンタルホテル大阪では、経験豊富なコンシェルジュチームが、ガイドブックにはない大阪ならではの周辺情報を盛り込んだオリジナルのビデオガイドやマップをご用意し、大阪での滞在が充実したものとなるようお手伝いします。

尚、インターコンチネンタルホテル大阪の公式サイト(www.icoska.com)を本日より公開いたします。

以上

インターコンチネンタルホテル大阪について

インターコンチネンタルホテル大阪(客室数:272室、住所:大阪市北区大深町3-60、代表番号:06-6374-5700)は、大阪・梅田の両駅に直結し、大阪の新名所として注目を集める「グランフロント大阪」(2013年4月26日(金)まちびらき予定)北館タワーCの合計17フロア(1~4、20~32階)に、コンテンポラリーラグジュアリーホテルとして、2013年6月5日(水)に誕生します。

合計215室のホテル客室と合計57室の長期滞在者向けサービスレジデンスのほか、5つの料飲施設、4つの宴会場・会議施設、婚礼チャペル、スパ、フィットネスなど充実した施設を備えます。大阪の街並みがパノラマに広がる地上20階のロビーから客室にいたるまで、都会的で洗練された、暖かみと落ち着きのある、コンテンポラリーラグジュアリーな空間がお客様をお出迎えし、大阪ならではの文化や歴史に触れることのできる、大阪を知り尽くしたコンシェルジュのサービスが、心に深く残る充実した滞在をサポートします。

URL: www.icosaka.com

インターコンチネンタル ホテルズ&リゾーツ(InterContinental Hotels & Resorts)について

インターコンチネンタル・ホテルズ&リゾーツは、60年を超える歴史を通じ、それぞれの土地ならではの魅力を知りつくした170のホテルを世界60か国以上で展開しています。卓越しつつも控えめなサービスと、充実した施設はもちろんのこと、お客様の滞在を最高のひとときにしていただけるよう、心からの思いやりを示していることに定評がございます。旅慣れたお客様にもスタッフが知るその土地ならではの魅力をご紹介します、お客様一人一人が他では味わえない本物の体験を通じて、お客様の人生に豊かで発見に満ちた滞在になるようお手伝いをします。

URL: www.intercontinental.com

添付資料: インターコンチネンタルホテル大阪 施設詳細

【添付資料： インターコンチネンタルホテル大阪 施設詳細】

ホテル客室 (21-28階:140室、26-28階:クラブ インターコンチネンタル 75室、計 215室)

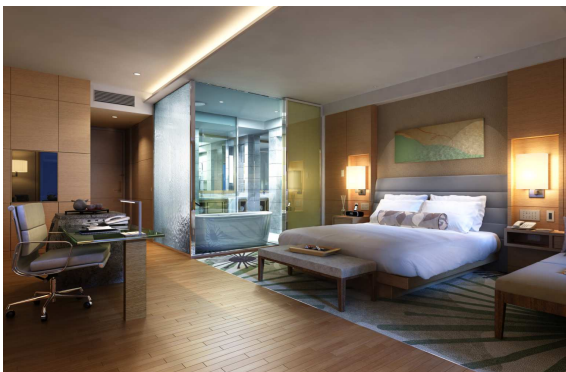
現代的なデザインの引き戸や、天然石を用いた家具、日本の伝統色を配したファブリックなど、都会的で洗練されたデザインの中に、日本独自の温かさと落ち着きをもたらすデザインです。また、主な客室の広さは50㎡以上と、大阪のラグジュアリーホテルの中でも群を抜いています。世界中の一流ホテルのデザインで活躍しているビルキー・リナス・デザインがインテリアデザインを手がけ、天井から床近くまである大きなガラス窓からは、昼夜様変わりする大阪の眺望を満喫でき、眺望、光、そしてプライバシーのバランスを考えた、上質な空間を提供します。バスアメニティには全世界のインターコンチネンタルが導入する米国の高級フレグランスブランド「アグラリア」を提供し、寝具やタオルなども最高級品を厳選。高層階に位置する「クラブ インターコンチネンタル」をお選びいただいたお客様には、ワンランク上の時間をお過ごしいただけるサービスをご用意しております。28階の専用ラウンジでは、ご朝食、午後のティータイム、夕方のカクテル&スナックとともに、心ゆくまでリラックスしたひとときをお過ごしいただけます。また、専任スタッフが、お客様のご要望にいつもお応えできるよう常駐しております。プライベートな小会議室や読書室のご利用も、「クラブ インターコンチネンタル」のお客様ならではの特典です。

サービスレジデンス (29-32階:57室)

長期滞在にも対応できるラグジュアリーなサービスレジデンスは、「ワンベッドルーム レジデンス (59㎡~74㎡)」「ツーベッドルーム レジデンス (90㎡~126㎡)」「スリーベッドルーム レジデンス (166㎡)」と幅広い選択肢も魅力です。「ツーベッドルーム レジデンス」と「スリーベッドルーム レジデンス」には、主室に続くバスルームの他に、もう一つのバスルームをご用意しており、親しいお友達同士でのシェアステイも可能です。

各ユニットには、クッキングファシリティー(調理機器、電子レンジ、IH 調理器、食器、炊飯器など)、乾燥機能付き洗濯機、家具、寝具類一式がセットされ、まるで我が家にいるような滞在をお楽しみいただけます。また、ホテル客室の滞在と変わらず、ルームサービスやランドリーサービス、コンシェルジュをご活用いただけ、不慣れな旅行先でも快適にお過ごしいただけます。

料金設定は1泊から1か月単位までと多様で、ホテルのサービスを必要に応じて追加したテイラーメイドプランをご用意しております。



ホテル客室
(イメージ)



サービスレジデンス
(イメージ)

レストラン&バー

■コンテンポラリーフレンチ「Pierre(ピエール)」(20F)

「都会的に洗練された空間とサービス」をテーマに、ミシュランガイド3つ星シェフのピエール・ガニエール氏やアラン・デュカス氏の下での修行に加え、日本料理の名店である東京「龍吟」、京都「菊乃井」で、和の極意を学んだ経験を持つシェフ Pierre Altobelli (ピエール・アルトベリ)を起用。シェフ・ピエールが、厳選した和の素材とフランス料理の技法を独自の感性でマリアージュさせた、新しいスタイルのフランス料理を提供します。

■「NOKA(ノカ)」(20F)

黄色を基調としたカラフルな店内には、ガラスに囲まれたプライベートルームと、ラックに並べられたそびえたつワインのディスプレイが目を引きまします。オープンキッチンに立つシェフが、新鮮な食材をお客様の目の前で調理します。様々な国からの選りすぐりの食材を使用し、コンテンポラリーなプレゼンテーションを取り入れた、カラフルでスタイリッシュな、種類豊富なブッフェをお楽しみいただけます。季節の素材を使用した、アラカルトメニューもご用意いたします。

■バー「adee(アディ)」(20F)

黒い大理石と重厚感のあるフローリング、石を積み上げた壁など自然素材にこだわった、リビング感を演出する暖かみのある空間。クリスタルを敷き詰めた、コンテンポラリーな煌びやかなシャンデリアのもとで、気の利いたドリンクとフィンガーフードとともに、DJによる音楽をお楽しみいただけるスタイリッシュなバーです。午後の優雅なひと時には、アフタヌーンティーもお楽しみいただけます。

■ラウンジ「3-60(スリーシクステイ)」(20F)

大阪市街を見渡す眺望が自慢の、隠れ家的なホテルラウンジ。窓際のラウンジ席に座ると、アットホームな居心地で、大切な方との待ち合わせやご歓談が弾みます。デイトタイムは、上質なコーヒーや高級紅茶メーカーによるホテルオリジナルブレンドティーやこだわりのスイーツを。ナイトタイムには、プレミアムクラスのコニャックやシングルモルトウイスキーなどをお楽しみいただけます。

■パティスリー「STRESSED(ストレス)」(1F)

STRESSED を逆さに綴ると、“DESSERTS”。忙しい毎日のなかでほっと一息、ふと夢の世界に入ったような美しい彩りのペストリーや、ホテル特製のケーキやパンを気軽にお楽しみいただけるパティスリーです。季節の素材を活かした最高級のスイーツは、テイクアウトやユニークなギフトにも最適です。



コンテンポラリーフレンチ「Pierre (ピエール)」
(イメージ)



バー「adee (アディ)」
(イメージ)

その他の施設

ウェディング (3F)

挙式を執り行うチャペルは、母なる自然をテーマに、香川県の庵治石(あじいし)を切り出した祭壇を据えるなど、日本の自然素材を活用しています。曲線のフィルムで2フロア約7mの吹き抜けを優しく包むことで、神秘的で神々しい雰囲気の中に、女性の持つ美しさや安らぎを表現しています。世界各国で展開するインターコンチネンタルホテルの洗練されたスタイルを、オーダーメイドのように取り入れることが可能な“World of Weddings”をご提供いたします。海外のトレンドを熟知したプランナーにより、お客様一人ひとりに寄り添った洗練されたウェディングをご提案いたします。

宴会場・会議室 (2-3F)

単に高級な料理やサービスでおもてなしするだけではなく、大阪ならではの食材や文化、行事の一端を体験いただくなど、お客様の心に深く残る宴会をご提供いたします。世界共通のミーティングプログラム「インターコンチネンタルミーティング」では、関西の食や文化の体験を通じ、よりユニークで効果的な企業イベントを提案することで、ビジネスの成功をサポートいたします。グランフロント大阪の豊かな緑に面したホワイエをもつ大宴会場は、伝統的な日本のはた織り機をイメージした天井オブジェが織りなす光が特徴です。中宴会場と2つの会議室も備えております。

フィットネス (4F)

JR 大阪駅直結という利便性の高いホテル内フィットネスには、各種トレーニングマシンやエキササイズスタジオはもちろんのこと、全長20mの屋内プール、シースルーのジャグジー、高級温泉を彷彿させる浴場やサウナなど、充実した設備を揃えます。大都市の中心で味わう、想像を越えた極上のリラックスした空間を提供します。

スパ (4F)

『All over Japan』をテーマとする、日本のおもてなし、文化、モノづくりの心を世界に発信するスパ施設「ALL THAT SPA OSAKA (オールザットスパオオサカ)」。日本の茶道の“手前”が持つ伝統とエレガンスへの敬意から生まれたフランスの最高級スパブランドで、日本初上陸となる「THÉMAÉ(テマエ)」を採用します。ALL THAT SPA セレクションとして紹介する五感を満たす工芸品など、日本の文化の奥深さ、モノ作りの底力を感じ取れる世界でここだけの空間です。ホテルのコンセプトである“コンテンポラリーラグジュアリー”を体現する場所のひとつとして、世界中のお客様をおもてなしします。

フラワーショップ (1F)

フランス・パリに本店を置き、著名なレストランや一流メゾンなどの装飾も手掛ける「Rosebud Fleuristes(ローズバッド フルリスト)」が日本に初上陸します。「Rosebud Fleuristes」は、Vincent、Cyril、Laurence の3人で、2010年にパリのオデオン座の広場にオープンしたフラワーブティックです。洗練されたフラワーアレンジメントに季節の和花を取り入れるなど、オリジナリティあふれる上質なシーンを演出します。